

アイダホ州：小麦作柄と気象状

2005年7月26日

2005年7月24日現在

7月24日に終わる1週間の気温は、全州に亘り平年より高めであった。平均気温はN地区では平年を2度F上回り、SW地区の平均気温は2度～9度F平年を上回った。N地区並びにSW地区の最高気温は102～107度Fとなった。降雨はN地区の山岳地で多少有ったが、その他の観測所では全く記録されなかった。Topsoilの水分並びに灌漑用水の供給状態は前週より悪化した。1部の地域で灌漑が中止された。1週間の州平均農作業稼働日数は6.7日（前週：6.8日）であった。

冬小麦は75%が登熟期にあり、この進捗は昨年（88%）並びに5年平均（88%）より遅れていた。収穫は全州の5%の圃場にて完了した。春小麦の進捗も昨年より遅く、38%が登熟期となった。昨年同期並びに5年平均では48%が登熟期であった。小麦の作柄は“Good”が多少“Excellent”の評価に上がったが、全体に大きな変化は報告されなかった。単位収量、品質の報告は未だ無かった。

USDA発表の7月1日付け冬小麦の生産量予想では、単位収量は6月1日付け予想より1.0 bu/ac増加し、92.0 bu/acreとなった。6月中の適時の降雨、異常高温が無かったことが6月1日付け予想より増収となった要因と言える。春小麦の予想では、単位収量は80.0 bu/acで昨年実績より1 bu/ac多い結果であった。詳細は別表の通り。

Topsoil 土壌水分：2005年7月24日現在

	Very short	Short	Adequate	Surplus
This Week (%)	3	33	63	1
Last Week (%)	2	24	68	6

小麦生育状況：2005年7月24日現在

	North			Southwest			South Cent.			Sate		
	05	04	Ave	05	04	Ave	05	04	Ave	05	04	Ave
Spring W. Headed (%)	99	100	99	100	100	100	100	100	100	95	97	96
Winter W. Harvested	4	4	7	17	28	24	10	8	10	5	5	8

vg. means 5-year 2000-2004 crop average. 05 means 2005, 04 means 2004 crop.

小麦の作柄状況：2005年7月24日現在

	Very Poor	Poor	Fair	Good	Excellent
Winter Whet					
This week (%)	0	1	5	65	29
Last week (%)	0	1	5	69	25
Spring Wheat					
This week (%)	0	0	3	66	31
Last week (%)	0	0	3	67	30

灌漑用水状況：2005年7月24日現在

	Very Poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This week (%)	0	3	28	61	8

Source : Idaho Agricultural Statistics Service

7月1日付けUSDA冬小麦生産量予想：

State	Harvested Area 1,000 acres		Yield Bushels/acre			Production 1,000 bushels	
	2004	2005	2004	2005		2004	2005
				June 1	July 1		
ID	700	730	90.0	91.0	92.0	63,000	67,160
USA	34,462	34,271	43.5	44.1	44.5	1,499,434	1,525,302

7月1日付けUSDA春小麦生産予想：

Crop	Harvested Area 1,000 acres		Yield Bushels/acre			Production 1,000 bushels	
	2004	2005	2004	2005		2004	2005
				June 1	July 1		
ID	490	450	79.0	-	80.0	38,710	36,000
State	13,174	13,637	43.2		43.2	568,918	588,740

当該作柄・気象レポートに付いてのご質問は下記までにお問い合わせ致します。

小川正晃 : <mailto:ogawa.max@omicnet.com>